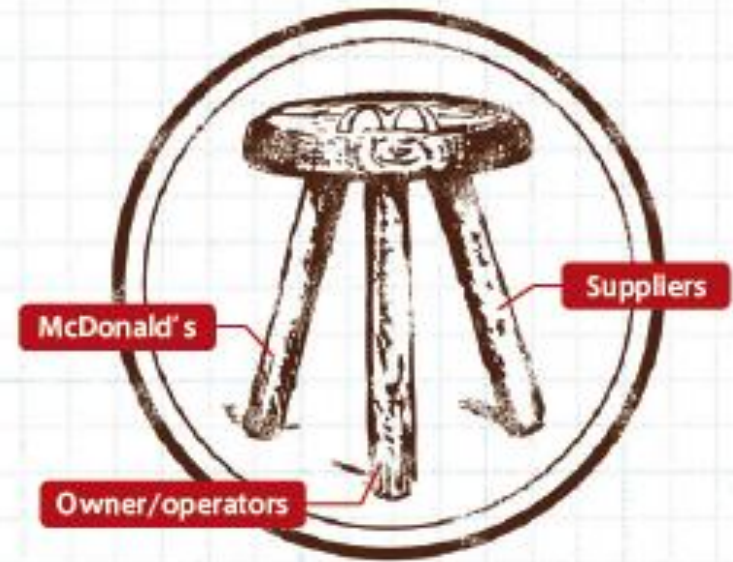


# マクドナルドの物流構造

マクドナルドの物流システムとフランチャイズとの関係

# マクドナルドと取引先、フランチャイズとの関係

## Three Legged Stool (3本脚の椅子)



### ・マクドナルド

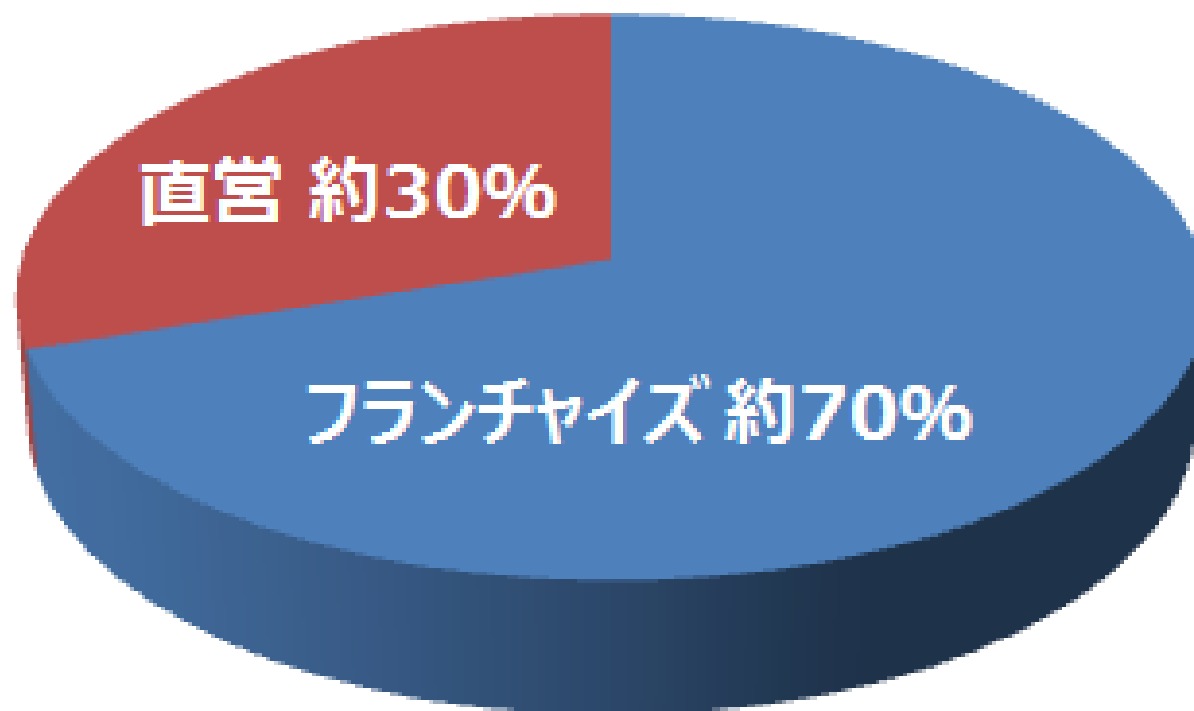
- ・共にマクドナルドビジネスを展開するオーナー・オペレータ
- ・商品の原材料の生産・加工・物流に至るサプライヤー

この3者があって初めてマクドナルドビジネスが成立する

# フランチャイズの規模

---

マクドナルドは外食チェーン企業であり、約**70%のフランチャイズ店舗**と**30%の直営店舗**で構成されています。



# マクドナルドの物流

## 安全で高品質な商品を提供するための4つの特徴

### 1 製品の品質・安全・衛生に関するグローバル基準

マクドナルドには「品質・安全・衛生」に関する世界共通のグローバル基準があります。そして、日本国内の関連法規、さらに専門家の科学的な知見や社会的環境などによる日本マクドナルドローカル基準を取り入れています。

日本マクドナルド  
ローカル基準

日本国内の  
関連法規

マクドナルド  
グローバル基準

### 2 国産を含め世界規模の安定した原材料調達

### 3 農場から店舗までの連続した品質・衛生管理

※ビーフを例にしたトレーサビリティの流れ



### 4 社会的責任と持続可能な企業行動及び行動規範

※1 GMP：製造・品質管理規範 ※2 HACCP：食品の安全に影響を及ぼす危害を最小限に抑える衛生管理システム

# マクドナルドの物流体制

---

- 1. 店舗の運営において、フランチャイズ店舗も直営店舗も同じシステムを使って運営されています。**
- 2. 使用する原材料資材はすべてマクドナルドが決定したもので、物流システムに従って発注から納品まで行われます。**
- 3. フランチャイズ、直営共にこの物流システムから外れた調達はありません。**

# サプライヤーとのパートナーシップ

食を提供する企業として安全で安心していただける商品を提供すること、それが私たちマクドナルドに求められることです。  
そのために、原材料の調達から「安全・安心」を担保することが重要となります。  
原材料の生産から加工・物流にいたる品質管理、そしてそれらを提供してくれるサプライヤーとのパートナーシップが基盤となっています。



## サプライヤー行動規範 (Code of Conduct)

私たちマクドナルドは誠実さを持った行動を取らなければなりません。  
それはパートナーであるサプライヤーにも同様に求められます。  
そのため、「サプライヤー行動規範」を設け、その遵守がサプライヤーに求められます。

### サプライヤー行動規範の概要

- 適用法及び基準の遵守
- 雇用慣行 労働基準法規の遵守  
児童労働、強制労働、差別、及び虐待の禁止  
報酬及び福利厚生、作業環境に関する要求
- 検査・監査 サプライヤーによる自主検査の実施  
マクドナルドの監査を行う権利

## サプライヤー品質管理システム (Supplier Quality Management System)

サプライヤーが高いレベルの品質管理・衛生管理を実施することを目的に、「サプライヤー品質管理システム (SQMS)」を設けています。  
全工程での徹底した製造温度の管理、異物混入調査、細菌検査などマクドナルド独自の品質管理プログラムです。  
サプライヤーはこれを遵守することが求められます。

# SUPPLIER



# 物流会社との関係

---

1. 原材料資材の物流は、資本関係のない物流会社に外部委託して行われています。
2. すべての取引先は、マクドナルドの提示する**サプライヤー行動規範、品質管理プログラム**を遵守することが求められます。  
マクドナルドは取引先に対して監査をする権利を持っています。
3. 物流は物流システムによって発注から納品まで一貫して行われます。  
これにフランチャイズ、直営の違いはありません。
4. フランチャイズ法人は物流会社と売買契約を結び、原材料資材を発注し、それに対する対価を物流会社に支払います。

# 物流会社とマクドナルド

---

1. 物流に関わる諸計画は物流会社によって作成され、マクドナルドとの協議によって決定され実行されます。
2. マクドナルドは物流会社を評価し、適性な物流会社であるか否かを判断しています。
3. 物流システムは、売上予測、販売比率などのマクドナルドからの情報を基に進行し、店舗の発注量の推定、やDCの調達量などを決定している。

# 補足

---

1. **フランチャイズ法人は、マクドナルドの指定した取引先とのみ契約ができる。**
2. **マクドナルドはフランチャイズ法人が、マクドナルドビジネスを展開するため最適なシステムを供給できるように取引先を選定しています。**
3. **マクドナルドは常に現状を把握し、効率を最適化することを行動の基本としています。  
エネルギー使用に関しても同様であり、前例にとらわれない対応を進めています。**

**END**